

航海図について

資料寄附者	大谷亮三氏
寄附年月日	2020年11月16日
数量	1点
資料の年代	1879年(明治12年)4月 写
形態	紙(軸物)
大きさ	ヨコ 224cm×タテ 30cm
概要	現在の豊岡市竹野町に住む船頭だった大谷四良兵衛が書き写した航海図で、原本は不明である。
記載地域	カラフト(サハリン)から関門海峡までの日本海沿岸が一枚の図に記入され、細い直線で航路が書かれている。
沖乗り航路	北海道と隠岐諸島を一直線に結ぶのは「沖乗り」航路で、明治時代前半にはこのコースもすでに一般的であったことが窺える。
地乗り航路	これに対し、沿岸各地を細かく結ぶ「地乗り」航路も描かれている。岩木山(青森県)や大山(鳥取県)といった高い山が記入されていることから、沖から見える山が航海の目印だったことが分かる。
方位と距離	地点間の距離と方位も記入されている。
展示場所	竹野川湊館(御用地館) 所在地：豊岡市竹野町竹野 422 開館日：水曜日と年末年始を除く 9時から 17時まで 入館料：無料
参考文献	北見俊夫 『日本海上交通史の研究』 法政大学出版局 1986年 「北前船」展実行委員会編 『「北前船」』新潟・兵庫連携展示図録 2015年

【問合せ先】

豊岡市観光文化部文化・スポーツ振興課文化財室
〒669-5305 豊岡市日高町祢布 808
電話：0796-21-9012 ファックス：0796-42-6112
メール：bunkazai@city.toyooka.lg.jp